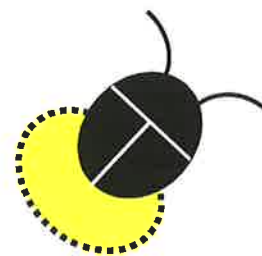


# 令和元年度ホタルまつり活動報告&写真記録

## ★『ホタルまつり』



### ■ホタルまつりに向け、看板の設置 (R1.6.1)・準備

6月15日に開催するホタル祭りのため、ホタルの里づくりの会会員で、町内10カ所と公民館前に案内看板を設置しました。

6月に入ると、会員やボランティアの方たちが、公民館玄関前に掲示したボードにホタルの数を記入していただきます。毎日の散歩のときにチェックするのが日課、という方もいらっしゃる程、町民の皆さんは楽しみにしてくださっています。

堀切川入口や川沿いの道に「ホタル街道」や「ほたる鑑賞小径(こみち)」などの看板を設置し、分かりやすくしています。

### 鶴里公民館前



その他、堀切川入口、堀切川流路工、新陽カントリー付近、下町公民館付近の11カ所に設置



堀切川流路工



新陽カントリー付近



鶴里公民館付近

■ホタルまつり (R1.6.15)

ホタル祭りでは、ミニコンサートと自然観察会を行います。

▽ミニコンサート 時間：午後7時00分～8時

場所：2階ホール

演奏者：アンデス&ラテン音楽 TAKISUN (タキスン)



南米ペルー。マチュピチュ遺跡のあるクスコ出身の兄弟2人グループ TAKISUN(タキスン)。TAKISUNとは、ペルー先住民族の言葉、ケチュア語で「歌いましょう」という意味です。ケーナ、サンポーニャなどの南米民族楽器の素朴な音色で、哀愁ラテンフォルクローレの名曲やオリジナル曲、陽気なリズムのラテン音楽をお送りいたします。遙かアンデス山脈の風を感じながらお楽しみ下さい。

コンサート

露天

竹灯り



中学生ボランティアの様子



打ち合せ



司会



会場設営



お出迎え



受付

大盛況

濃南中学校から、29名の生徒さんがボランティアスタッフとしてまつりをサポート。会場設営や受付、来場者の案内係などを務めてくださいました。

今年も参加型のコンサートでみんなで体を動かし歌いました。  
 コンサートの様子 会場は立ち見もできるほど満員になりました



### ▽自然観察会

自然観察会は鶴里町のあちこちで開催されました。特にホタルが多く見られるところには看板が立てられて、毎日ホタルの数を数えています。

道は暗いので、安全のため、ホタルの里づくりの会員やボランティアが誘導などをしました。

また、公民館横駐車場では、例年和の会さんによる猪鍋の無料サービスや柿野温泉のペアチケットが当たる抽選会、だんごなどの屋台を出し、大変盛り上がりますが、豚コレラの影響で猪鍋は中止となりました。代わりに、「竹灯りイベント」を開催し盛り上げました。



今年、ホタルまつり当日はあいにくの天気です。ホタルの飛行は半分以下で少々残念な結果でした。市外・県外のお客様も年々増加しコンサートは楽しんでいただけました。

本年より、柿野温泉旅館連合会が『ホタルの鑑賞ツアー』を実施し、ホタルの小路には沢山のぼりを設置して頂きました。、平日も沢山のぼりのお客様が来町され鶴里町の町おこしにも貢献出来ました。



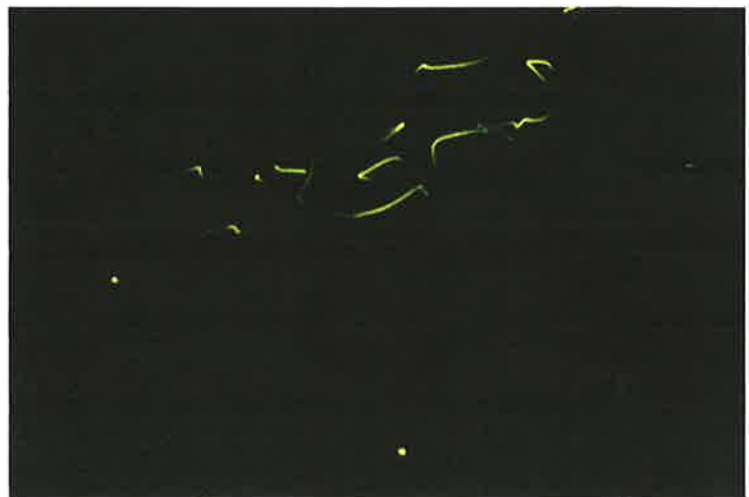
鶴里公民館の横、ホタルの小路・広畑川では小路を歩いていると目の前を沢山のホタルが横切ってきたり、足元にとまったりと距離感0のホタルとのふれあいが楽しめます。

前年に比べホタルの数は少なかったことは残念ですが、お客様からは「すてきな夜を楽しめた」との声を頂きました。



新陽カントリー入口の妻木川は、ホタルの小路と違って変わって見通しがよく、遠くの川辺にホタルが舞う光景を見ることができます。

遠目に見る川辺は、本当に幻想的で素晴らしい光景です。川辺には木のベンチがいくつか設置されゆっくりと観賞することができました。



## ★ ホタルの里づくり 1年間の活動



### ■ホタルと自然授業（濃南小学校 4年生）（R1.4.24）



毎年、小学校4年生の皆さんにホタルの幼虫飼育をお願いしています。幼虫飼育の前にもっとホタルのことを知ってもらおうと事前に「ホタルと自然」をテーマに授業を開催しました。雄と雌の見分け方や、ゲンジボタルの一生などをお話しました。



### ■ホタルの水槽設置（濃南小学校 4年生）（R1.7.5）



ホタルまつりが終わると、公民館・小学校・ホタルの里づくりの会・里親の皆さんが来年も綺麗なホタルが舞うことを願いつつ、幼虫飼育が始まります。

小学校では毎年4年生の皆さんに飼育を手伝ってもらいます。

まずは、里づくりの会の指導のもと幼虫を育てる水槽設置からはじめます。



### ■ホタルの幼虫配布（濃南小学校 4年生）（R1.7.25）

ホタルまつりの日に捕まえたホタルから産卵させた幼虫を小学校へ配布します。

幼虫は髪の毛の先ほどしかありません。

スポットで小さな幼虫を数えながら吸い上げ水槽へいれ、ホタルのエサとなる巻貝（カワニナ）も近くの川から取ってきました。

孵化した幼虫です。2000匹以上います。





## ■ホタルの生息地の環境整備 (R1.9.8)

ホタルが育つにはホタルの生息地の環境整備が不可欠です。

ホタルのエサとなるカワニナが自然発生するよう、カワニナ養殖場や堀切川の整備をホタルの里づくりの会の皆さんと定期的に行います。



■ホタルの放流会（濃南小学校 4 年生）（R1.3.7） 前年資料

鶴里公民館では、濃南小学校 4 年生にホタルの飼育と水槽の設置のお願いをしています。児童たちは約 1 年かけて幼虫の世話をし、命の大切さや自然を守ることの大切さなどを学びます。1 年かけて大きくなったホタルの幼虫は、毎年 3 月、児童たちによって放流されています。班ごとに責任を持って育てます。そのままでは重いので、水を抜きます。外に運び出します。水槽からホタルの幼虫を掘り出し、3 月 7 日に幼虫を育て放流しました。



本年度は、コロナウイルス影響で濃南小学校が休校となり、4 月に延期し実施する予定です。



■ホタルの放流会（公民館・ホタルの里づくりの会・里親・一般）（R2.3.15）

ホタル会員・里親さんが掘り出したの 1000 匹のホタルの幼虫を、広畑川・妻木川に放流します。放流希望の一般の方も参加して行いました。

